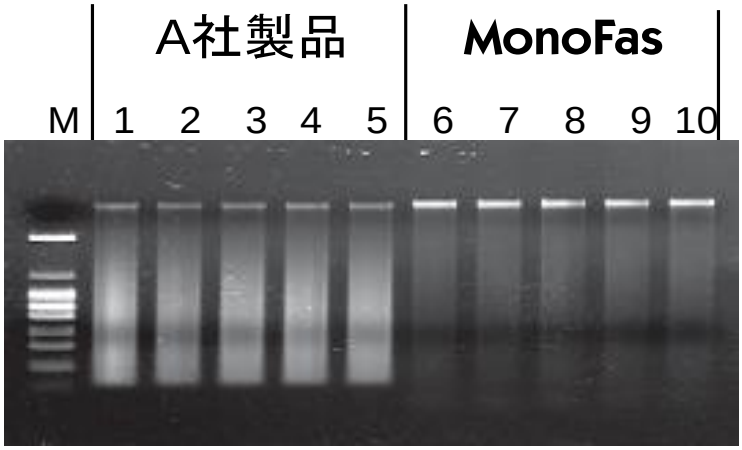
バクテリアゲノムDNA抽出キットⅦ

データ 1：高純度が回収できる

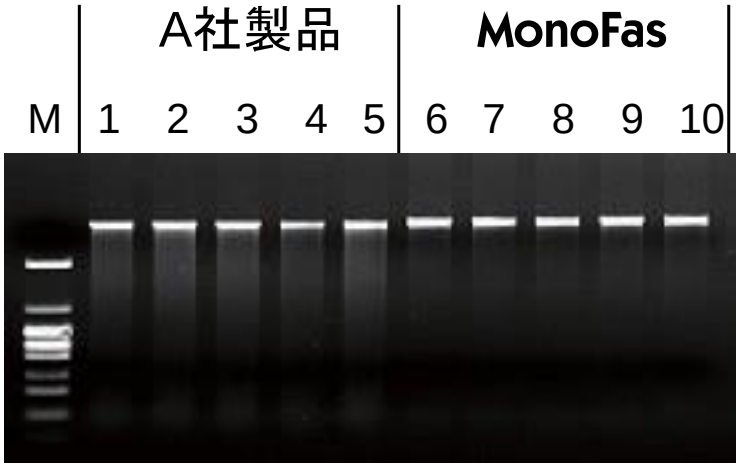
グラム陽性菌DNA抽出



M　　：pHY Marker
1～5　：他社製品
6～10　：**MonoFas**

ロード：10 μL，溶出量：100 μL

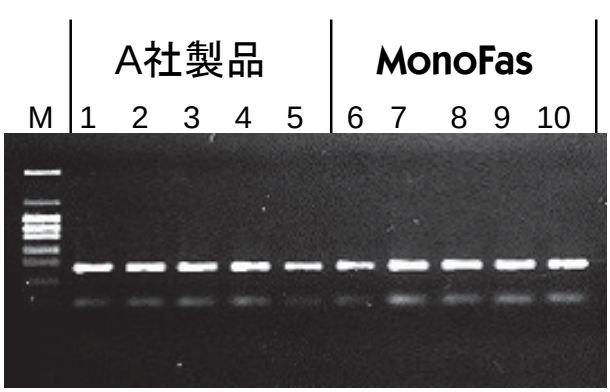
グラム陰性菌DNA抽出



M　　：pHY Marker
1～5　：他社製品
6～10：**MonoFas**

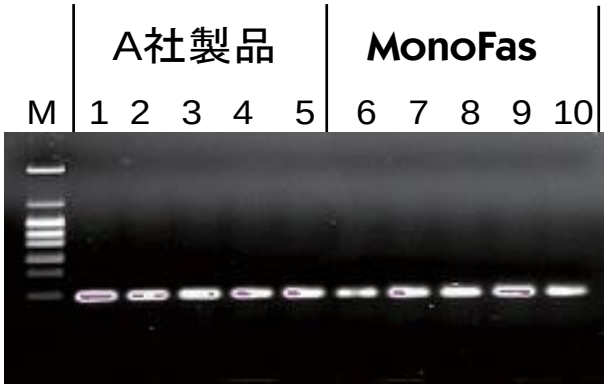
ロード：10 μL，溶出量：100 μL

抽出液からPCR増幅



ロード：5 μL

200 bp



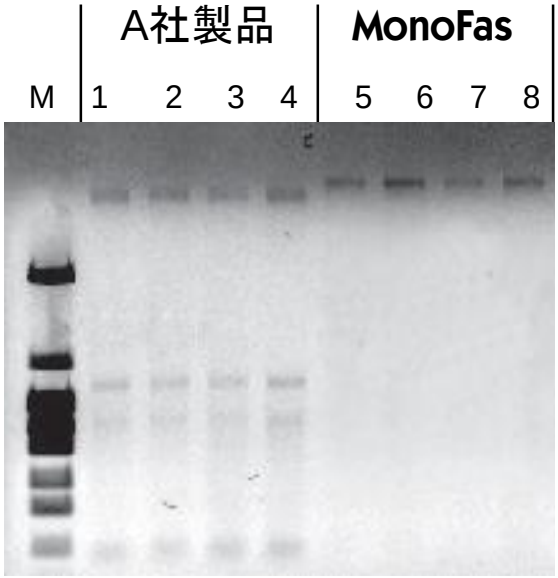
グラム陽性菌　　グラム陰性菌

M　：　pHY Marker　　1～5　：　他社製品　　6～10　：　**MonoFas**

抽出液をそのまま阻害無くPCR増幅に利用できます。

バクテリアゲノムDNA抽出キットⅦ

データ 2：酵素処理（Proteinase K ）なしで抽出可能



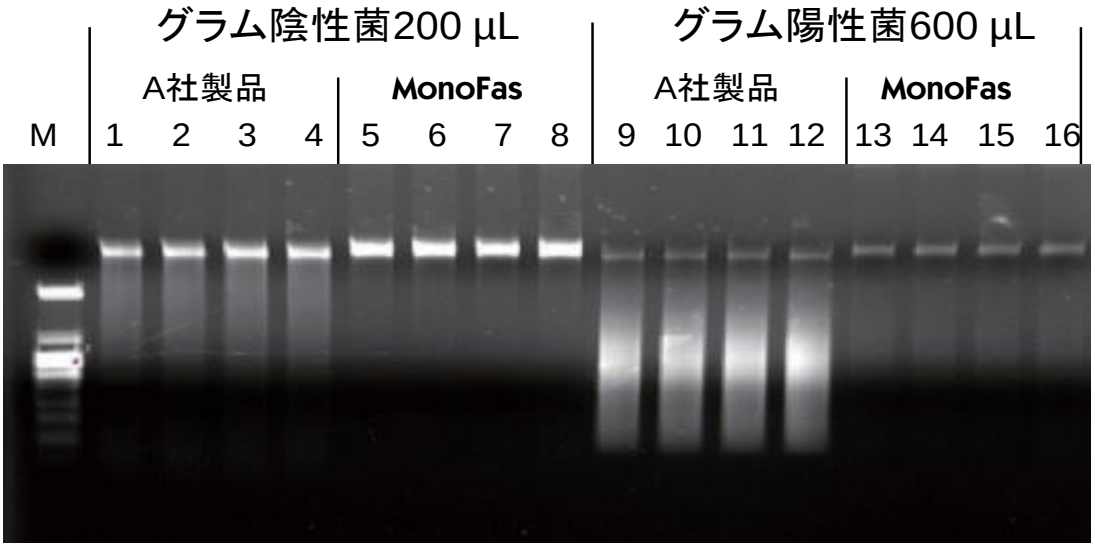
E.Coli 5 μLからグラム陰性菌の精製比較

M　　：Marker
1～4　：A社製品
　　（Proteinase K処理あり）
5～8　：**MonoFas**
　　（Proteinase K処理なし）

ロード：10 μL　溶出量：50 μL

微量サンプルからゲノムDNA抽出を行った結果、A社製品と比較すると回収量では大きな差は見られませんでした。しかし、A社製品は、断片化DNAが確認されたのに対して、**MonoFas**では確認されず、A社製品より分子サイズの大きいDNAを抽出できたことがわかります。

データ 3：グラム陰性菌＆陽性菌の両方に対応可能



グラム陰性菌 ：LB液体培地で培養した大腸菌（DH5株）
MonoFasはProteinase K のみ処理　RNase A は処理なし
A社製品はProteinase K と RNase A で処理
グラム陽性菌 ：LB液体培地で培養した納豆菌（Bacillus natto 株）
MonoFasはProteinase K と RNase A で処理
A社製品はProteinase K と RNase A で処理